

3. レストランを どうしたら 持続可能に？

2. 提供する “もの” 調達原材料の生産者と進める取り組み

やさい ①ダイコン、②タマネギ



北海道千歳市・蘆田さんの場合

- 畑の土を必要以上に細かくしすぎない。大根が土の中深くまで伸ばす細くて長い根が、自ら力強く育つように。ゆっくり効く有機質肥料のみを使用急いで大きくせず、中身がみっちりつつまった大根にするイメージ。



北海道夕張郡長沼町・伊東さんの場合

- 畑を1年おきに休ませる。1年玉ねぎをつくった畑は、翌年休ませて土づくりに専念。緑肥や有機質肥料で土づくりをし、病気にかかりにくい、健康的な玉ねぎをつくるためです。

やさい ③ミニトマト



鹿児島県肝属郡錦江町・福岡さんの場合

- こだわりの堆肥で土づくりおよそ2年間かけて仕上げる良質な堆肥。ミニトマトの根がしっかりと張るよい土をつくります。ビニールハウスの中をきれいに保つミニトマトの病気を予防するために、ハウスの中はいつも整然と、清潔に。



北海道 外来種セイヨウオオマルハナバチの駆除会



2005年以降 毎春、
運営施設「えこりん村(恵庭市)」で実施。
(2008年～北海道、

2014年～北海道セイヨウオオマルハナバチ対策
推進協議会、HoBiCC、と共催)

駆除数 1,218頭(内 女王955頭)、
活動者累計470名、活動回数72回

(その内一般参加は、
開催回数15回、駆除数858頭(内 女王バチ810頭)、
延べ参加者数442名(開催者含む))

- 生物多様性アクション大賞2018つたえよう部門入賞
- 継続的参加者からは、在来のハチが増えたと感想あり
- 参加協議会作成のトランクキットや映像で今後の普及も期待



お米(省農薬米)① 3つの保証

安全性 の保証

薬はできるだけ
使わない



農薬（化学合成）は、許可した除草剤1回のみまたは不使用を、肥料は窒素の有機率50%以上*を規程しています。

*化学肥料の使用は地域の慣行基準の窒素の半分未満まで（または不使用）

品質 の保証

もちろん
おいしい！



食味Aランクが目標です。
また、精米後7日以内に
店舗で使用することにしてい
ます。

原産地 の保証

どこでだれが
育てたかわかる！



原産地と生産者を指定し、
生産者による出荷者証明が
できます。

お米(省農薬米)②

産地・生産者について



全国16産地（直営8産地）

栽培面積：1701ha
(直営1087ha)

生産者数： 584農家
(直営341農家)

* 2018年度

北海道道庁田んぼの生きもの調査シート						
調査者:		圃場名: No.6 宮城野井水田				
調査日: 平成30年 7月19日		天候: 曇れ / くもり / 雨		気温	27℃	
藻・水草類	●見られる場所 田んぼの水面～水中		<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	その他 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		
	●田んぼでの役割 水中への酸素供給 水質浄化 遊泳による雑草抑制 生物の住処や餌	□オアシドロ 緑状で水面に浮き上がる 多い 少ない ない	□アマミドロ 糸小枝で葉が伸びる 多い 少ない (はい)			□浮き草 水面に広がる 多い 少ない (はい)
水田雑草	□ヒエ 土で増える 多い 少ない (はい)	□オサマガキ 白く、根が土の中へ張る 多い 少ない (はい)	□ミズアオイ 赤の花、根が土の中へ張る 多い 少ない (はい)	□ヒルムシロ 地下で増える 多い 少ない (はい)	その他 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	●見られる場所 畦畔や稲の葉の上					
	●田んぼでの役割 虫の捕食 鳥獣への餌 オタマジャクシは蓮や やわらかい親草の 芽を食べる	□ニホンアマリギ 黒い体に多い、脚一色～褐色まで色色化する 多い 少ない (はい)	□エゾアカガエル 4月に産卵する 多い いる (はい)			
カエル・両生類	●見られる場所 水辺や稲の葉、稻株の間				その他 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	●田んぼでの役割 空中や稲上の虫の捕食 カルトノボ・鳥類の餌	□アシナガゴモ 稲の茎の上で網を張る 多い (はい) いらない	□コムリゴモ 網は張らず水田を走る 多い (はい) いらない	□ナガゴケグモ 棘刺に垂直に向ひ張る 多い いる (はい)		
	●見られる場所 水辺や稲の葉、稻株の間					
クモ類	●田んぼでの役割 空中や稲上の虫の捕食 鳥類の餌 田んぼの蜘蛛の代表 的な生きもの	□アシナガゴモ 稲の茎の上で網を張る 多い (はい) いらない	□コムリゴモ 網は張らず水田を走る 多い (はい) いらない	□ナガゴケグモ 棘刺に垂直に向ひ張る 多い いる (はい)	その他 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	●見られる場所 空中・稲の葉や穂					
	●田んぼでの役割 空中や稲上の虫の捕食 鳥類の餌 田んぼの蜘蛛の代表 的な生きもの	□イトトンボ 群やため池にあることが多い 多い (はい) いらない	□シオカラトンボ メスばかりがトンボ 多い いる (はい)			
トンボ類	●見られる場所 水辺や田面 羽化時は稻株を上る				その他 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
	●田んぼでの役割 水の中の虫の捕食	□イトトンボのヤゴ 稚虫先→弱体化する 多い いる (はい)	□シオカラトンボのヤゴ 成虫の時に産む。ヤゴで越冬 多い いる (はい)			
	●田んぼでの役割 水の中の虫の捕食	□イトトンボのヤゴ 稚虫先→弱体化する 多い いる (はい)	□シオカラトンボのヤゴ 成虫の時に産む。ヤゴで越冬 多い いる (はい)			

アレコ省農薬米生産者玄米出荷者証明書

出荷日 年 月 日

住 所

記載内容に相違のない
ことを証明し、責任を
持って出荷します。

出荷者名

(印)

確認責任者

責任者名

印

住 所

TEL

FAX

年 産	年産米	アレコ	荷 姿	30kg袋	60kg袋	1tフレコン
品 種	ゆめぴりか	出荷数量	1等	20 俵		
検 査	緑査米		2等			

栽培方法

アレコ省農薬栽培 有機認証(転換期間中含む)

特別栽培(農薬、化学肥料不使用)

1 化学合成農薬の使用歴	今 年	前 作	前々作
合計使用回数(育苗～終了まで)	1 回	1 回	1 回
今年に使用した除草剤名	メガゼータロアプロ		
成 分 名	ピラクロニル		
	プロピスルアロン		
アレコ禁止農薬成分を使用しています。	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
2 肥料設計	今 年	前 作	前々作
堆肥(10aあたり)	kg	0 kg	0 kg
肥料成分(10aあたりN量)	10.55 kg	10.14 kg	9.60 kg
うち化学肥料(10aあたりN量)	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg
化学肥料の窒素成分量の当地の慣行レベル	8.00 kg/10a	今年の肥料の有機率:	100%

3 禁止事項の遵守状況

遺伝子組換え種子を使用していません。

☐ はい ☒ いいえ

朝鮮に除草剤、ほか化学合成農薬を使用していません。

☐ はい ☒ いいえ

外来生物の持込をしていません。

☐ はい ☒ いいえ

土地に本来生息していない生物を持ち込んでいません。

☐ はい ☒ いいえ

4 収穫圃場

圃場番号

出荷数量

備考

6.22

20俵

5 玄米の状態

病虫害 ☐ なし ☒ あり

品質 ☐ 普通 ☒ 特選 ☐ 特選あり

]

アレフ省農薬米 栽培管理表 2016年3月版 5/5

2016年「省農薬米」基準 改定
直営店に出荷する契約生産者では、

- シンボル生きもの設定と生きもの調査 必須に
- 生物多様性の取組目標開始

お米(省農薬米)③ 生物多様性配慮項目

2016年 実績値	目標値		
	2018年	2019年	備考
977箇所	1036箇所	1075箇所	3年で 約1割増 が目標
362箇所	384箇所	398箇所	
30回	32	33回	

水田の生物多様性配慮項目の実施ヶ所:

981圃場

水路などでの生物多様性配慮項目の実施:

626ヶ所

農業体験や生きものの調査体験の実施など
非農家に対する啓発活動:

57回

生産者
が行う

生きものがよろこぶこと

年に1回以上
生きもの調査



シンボル生きもの
を生産者が決める



推奨！
生物多様性の向上策



魚道の設置や冬期湛水、
ビオトープなど

お米(省農薬米)④ 田んぼの生きもの調査

■ 2011年開始

■ 2018年度の例

5会場開催

協力:北海道ふゆみずたんぼPJ

JA岩手ふるさと

蕪栗米千葉農場

山形おきたま産直センター

応募総数: 514名

参加者総数: 225名

店舗従業員参加総数: 12名

■ 2019年まで

開催回数: 30回

のべ参加者数: 1142名



お米(省農薬米)⑤ 生産者協議会



お米(省農薬米)⑥ 実証・体験田(えこりん村)



- えこりん村 (恵庭市・北海道)
『ふゆみずたんぼ』
→ 農業体験や
水田生物の観察の場
(毎年4～10月公開)
年間のべ
1500名ほどが体験



- ふゆみずタンゴ
→ 水田の生きものの楽しさを
伝える歌と踊りの
アニメーション
生物多様性アクション大賞2013
→ Green TV賞を受賞



- 国内外来種
トノサマガエルの駆除活動
第1回 北国のいきもの守りたい賞(北海道)企業部門受賞

肉・ビーフ①

1 味に定評のあるブリティッシュ系・ヨーロッパ系の肉牛

丈夫で飼育しやすいヘレフォード種とアンガス種が中心です。



2 成長ホルモン剤を使わず、自然に成長させる

牛本来の自然な成長を大切に考え、
短期間に体重を増やす成長ホルモン剤は使用しません。
また、生後12カ月以降は抗生物質や合成抗菌剤の
使用などを禁止しています。

3 飼料は牧草・干草・サイレージを主食とした 放牧環境で育った牛

- ① 牛たちが食べるのは牧草・干草・サイレージが主食。
(サイレージ：乳酸発酵させた牧草)
- ② 広大な土地に放牧され育っています。



肉・ビーフ②

4 と畜・加工場の衛生管理の徹底

牛の生育環境だけでなく、と畜・加工場の衛生管理にも細心の注意を払い、品質管理の徹底を図っています。

5 トレース（追跡調査）が可能な管理体制

認証番号が記されたイヤータグによって一頭一頭の飼育履歴を管理。



6 BSE発生の可能性が最も低いニュージーランドとオーストラリア産

これらの国・地域は地理的孤立と検疫制度によって家畜が疫病から守られ、BSE発生の可能性が最も低いといわれています。

※2015年6月時点



「環境」へ視点が広がった経緯

食から食材へ

FOOD to INGREDIENTS



安全な「食」、
健康をつくる「食材」の追求

1979年 衛生検査室を開設

食材から農業へ

INGREDIENTS to AGRICULTURE



「食材」が作られる現場を
学び、研究する

1988年 実験農場開設、
1990年 アレフ牧場開設支援、
1996年 農薬を控えた米調達

農業から自然へ

AGRICULTURE to NATURE



資源利用を減らす、
環境負荷を下げる、
自然資源を保全する

1996年 生ごみ処理機、
2001年 全社省エネ活動、
2003年 生物多様性シンポジウム

4. 質 問

- ファミリーレストランの1つのメニューの価格帯は？
- その金額で、今日考えた取り組みができそうですか？
- No one will be left behind 誰一人取り残さない
SDGsの達成につながりそうでしょうか？
- 安定して生産してもらえる量の確保と
仕入れ原価、働く人の賃金、レストランの設備や
賃料・税金などを含んでも手の届く金額での提供と
それ以上の取り組みを企業が続けられるようにするには
どうなるべきでしょうか？

壁はたくさんある！でもきっとできることもある！



この一皿に、
たいせつなこと、
ひとつずつ。

ご静聴ありがとうございました